

安全報告書

2019年（令和元年）度版



由利高原鉄道株式会社

令和元年度由利高原鉄道安全報告書

1.安全確保に向けて経営トップからのメッセージ

由利高原鉄道鳥海山ろく線をご利用いただきありがとうございます。また、駅周辺の美化や環境整備、除雪まで鉄道を快適に利用できるよう、地域の皆様に大きなお力添えをいただいておりますこと心より感謝申し上げます。

弊社では、車両の安全な運行を最優先事項に掲げ取り組んでおりますが、令和元年度は踏切内に軽トラック荷台の一部が残り接触したことによる列車の遅れや、車軸の焼き付けによる車両故障、雪による倒木への車両接触など、強風や大雨といった事象の発生による運休以外の事例が3件発生いたしました。いずれも大事に至らずに済んだ事例でありました。

しかしながら、発生原因が当方ない事例であっても発生を避けるために対策を講じていかなければならないとの認識から、このようなことが二度とおきないように、社内に社長をトップとする常設の危機管理委員会を設置し、原因を分析し、対応策を講じることとしております。

委員会においては、社員すべてに委員会での報告内容と検討内容を伝達しながら、発生した事例への具体的な対応策を検討、実施することとしたほか、事故につながっていない事例も含め検討し、事故を未然に防ぐための方策を講じる仕組みをつくりました。

また、これまで弊社においては軌道整備、道床交換や枕木交換など老朽化した設備の改良や交換など、継続して実施し安全性の向上に努めてまいりましたが令和2年度から、橋梁の躯体部分の点検にも順次取り組み車両運行の安全性について、改めて徹底していくこととしたところです。

社員に対しても、定期的な安全輸送のための能力の向上を目指し勉強会を開催し、事故ゼロ、天候など自然に起因するもの以外の輸送障害の発生を極力なくしていく努力を重ねております。

本報告書は、鉄道事業法第19条に基づき、輸送の安全確保のための取り組みや安全の実施について、自ら振り返るとともに、広くご理解いただくために公表するものです。

皆様からの声を弊社鉄道の安全運行にいかしてまいりたいと思っております。是非、ご意見をお寄せください。

由利高原鉄道株式会社
代表取締役社長 萱場 道夫

2. 安全に関する基本方針

当社は、安全・安心の提供がお客さまへの最大のサービスであるとの認識の下、社員一人ひとりが基本作業と基本ルールの順守へ真摯に向き合い、安全を最優先とする意識を徹底し、輸送の安全の確保に取り組めます。

安全の「基本的な方針」は安全管理規程で定める次の6項目とする。

- ①安全の確保は、輸送の生命である。
- ②規程の遵守は、安全の基礎である。
- ③執務の厳正は、安全の要件である。
- ④事故・災害等が発生したときは、人命救助を最優先に行動し、すみやかに安全適切な処置をとる。
- ⑤情報は漏れなく迅速、正確に伝え、透明性を確保する。
- ⑥常に問題意識を持ち、必要な変革に果敢に挑戦する。

3. 安全目標

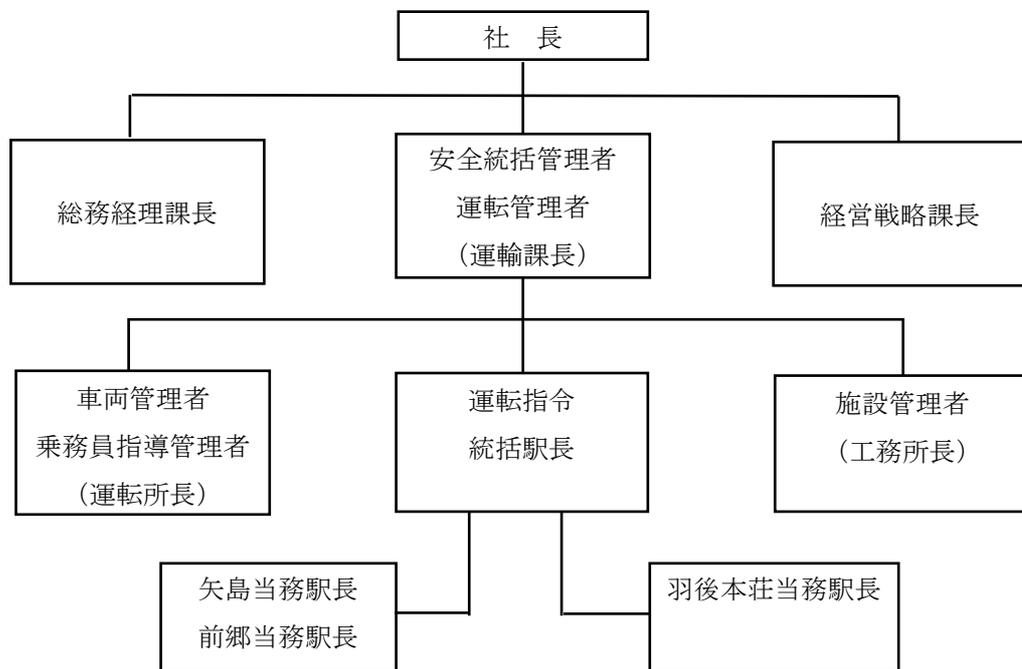
安全・安定輸送の確保は、鉄道事業者の最重要課題と位置づけ、安全管理者を中心に「事故は絶対起こさない」を合言葉に、規程の遵守、当事者意識の確立に努め、死傷事故ゼロ・鉄道運転事故ゼロと輸送障害の削減に努めてまいります。

4. 重点実施施策

- 安全・安定輸送の確保
 - ア 社員の育成（定期的な勉強会と経験値抽出の実施）
 - ・基本動作の再徹底と異常時対応能力向上について。（勉強会・訓練の実施）
 - ・検修業務知識のレベルアップ。（知識の再確認）
 - ・構造物・電気設備の検査洩れ対策（スケジュール管理と台帳チェック体制の確立）。
 - イ 鉄道施設検査記録の整備と老朽施設の整備（整備計画の推進と検査台帳のチェック）

5. 安全管理体制

当社の安全管理規程に基づき組織体制を整え、安全統括管理者をトップに各職場での安全管理に努めてまいります。



役 職	役 割
代表取締役社長	輸送の安全確保に関する最終的な責任を負う。 輸送の安全の確保に必要な要員・設備投資・財務に関する事項を統括する。
安全統括管理者	輸送の安全確保に関する業務を統括する。
運転管理者	安全統括管理者の下、運転に関する事項を統括する。
乗務員指導管理者	運転管理者の下、運転士の資質の保持に関する事項を管理する。
施設管理者	安全統括管理者の下、施設に関する事項を統括する。
車両管理者	運転管理者の下、車両に関する事項を統括する。

6. 令和元年度の当社運転事故・輸送障害発生状況その他

- ・鉄道運転事故 : 0 件
- ・インシデント : 0 件
- ・輸送障害 : 5 件
- ・踏切障害 : 1 件
- ・車両故障 : 1 件

※ (30分以上の遅延及び運休が発生した事象)

月	日	30分以上の遅延及び運休が発生した事象	運休本数	運休列車番号
9	17	踏切障害	4本遅延	列車遅延 2D1D4D3D
9	30	車両故障	8本	15D17D18D20D19D22D 21D24D
10	13	水害(大雨)	12本	2D~11D
11	20	水害(大雨)	12本	2D~11D
12	5	雪害(倒木)	4本	2D1D4D3D
3	5	風害(強風)	10本	20D~27D
3	6	風害(強風)	12本	2D~11D

7. 安全対策実施状況

線路設備に関しては、ホームの改修、軌道整備、墳泥道床の交換とマクラギ交換、老朽設備の更新等継続して実施し、安全性の向上に努めております。

車両に関しては、日常の始業点検作業を確実に実施し、全般検査、重要部検査及び定期点検も法律に定められたとおり実施しており、お客さまに安心して頂ける設備を提供しております。

なお、沿線の皆さまには夜間工事等で、ご迷惑をおかけする場合がございますが、列車の安全運行のため、ご理解とご協力をお願いいたします。

○ 令和元年度の主な安全対策実施状況 (千円)

・道床交換工事 子吉・鮎川間及び西滝沢駅構内	12,000
・橋枕木交換工事 第3土倉橋梁マクラギ交換	3,000
・マクラギPC化工事 羽後本荘・前郷間PC化	4,500
・全般検査修繕工事 YR3001号	18,000
合 計	37,500

8. お客様に優しい駅・鉄道をめざして

当社では、お客さま第一を合言葉に安全で安心してご利用していただけるように、支えて下さる地域住民の皆さまとともに、社員一丸となって知恵を出し合い、沿線環境の整備と駅舎の美化に努めてまいります。

列車アテンダントが乗車するまごころ列車は、初めていらっしゃるお客さまへの沿線案内やイベント案内、グッズ販売を行うなど、親しみやすい雰囲気を醸し出しております。

高齢者等で運転免許を返納された方には、優遇として運賃半額対応など、また、日中時間帯には薬師堂駅～矢島駅間、自転車を無料で持ち込みできる車両を設定し、お客さまがさらに利用しやすい鉄道を目指しております。

9. 『お客様の声』について

当社に対するご意見・ご要望等については、引き続き車内の専用用紙やお客さまへのアンケートのほか、本社・有人駅に於いても電話や窓口にて受付をいたしております。また、ホームページやブログでも、お客さまのご意見・ご要望等もお受けして、社員全員がお客さまのお声を真摯に受け止め、改善に努めてまいります。

10. ご連絡先

安全報告書のご感想、当社の安全への取り組みに対するご意見は、下記にお願いいたします。

〒015-0404

秋田県由利本荘市矢島町七日町字羽坂 21-2

由利高原鉄道株式会社

電話 0184-56-2736

FAX 0184-56-2850